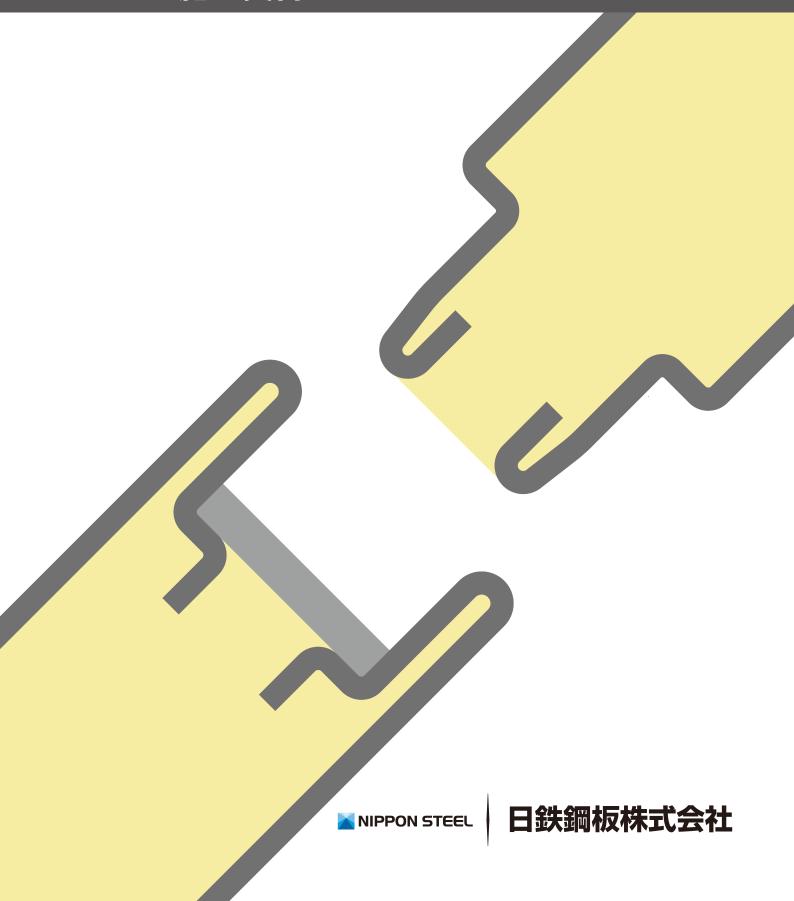
内装パネル

## 不燃内装イツバンド。

## 施工資料 2022年11月版



## 目次

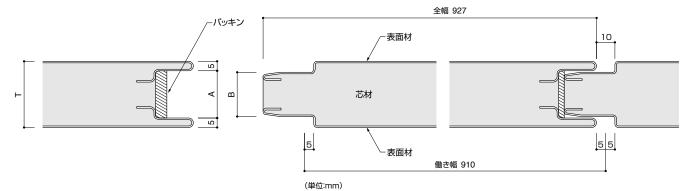
1. 製品
1.製品仕様2
(1)形状・寸法2
(2)標準仕様2
(3)標準色2
(4)各種認定2
2.純正部材3
2施工
 1.不燃内装イソバンド〈壁の施工〉······8
(1)準備8
(2)ランナーの取り付け9
(3)巾木の取り付け10
(4)コーナーの仕舞11
2.不燃内装イソバンド〈天井の施工〉12
(1)準備······12
(2)パネルの建て込み13
(3)パネルの留め付け14
(4)壁と天井の取り合い15
(5)ジョイント部の仕舞16
<b>3.施工後の注意</b>
注意
* <del>***********************************</del>

## 1

## 製品

## 1. 製品仕様

## (1) 形状·寸法



種類	製品厚:T	Α	В
不燃内装イソバンド	22	12	10
	35	25	23
	45	35	33
	60	50	48

## (2)標準仕様

製品名	芯材	製品厚 (mm)	質量 (kg/m²)	働き幅 (mm)	製品長さ*1	表面材
不燃内装イソバンド ポリイソシア ヌレートフォーム		22 *2	10.5	910		ポリエステル系塗装GL (O.5mm)
		35	11.0		0.8~8.0m ご指定寸法で受注 生産いたします。	
		45	11.5			
		60	12.0			

<sup>※1</sup> 製品長さ 0.8m 未満についてはご相談下さい。

## (3)標準色

## ■標準色と近似マンセル値および日塗工番号

表面材	色番号	名称	近似マンセル値	日塗工番号*4
ポリエステル系塗装GL	0721WA	オフホワイト	8.8GY8.6/0.2	N-87

<sup>※4 2015</sup>H 版より参考値として日塗工番号を記載していますが、実際の色相とは多少異なりますのでご注意下さい。

<sup>※2</sup> 厚さ 22mm のパネルは BT リベット留め不可です。 厚さ 35mm 以上をご使用下さい。

注)標準色以外をご検討の場合はご相談下さい。

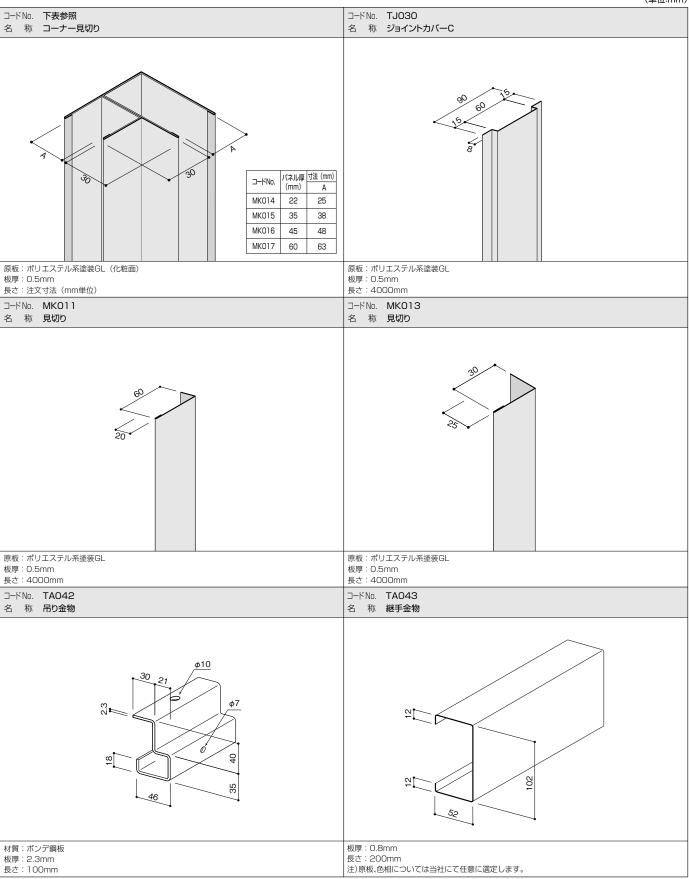
## 

長さ:4000mm

(単位:mm) コードNo. 下表参照 コードNo. ランナーB1/下表参照 ランナーB2/RNO24 名 称 ランナーA 名 称 ランナー B1・B2 ランナーB1 パネル厚 寸法 (mm) 〈ランナーB1〉 コードNo. (mm) Α パネル厚 寸法 (mm) コードNo. RN004 22 26.5 (mm) Α RN020 35 18 RN005 35 39.5 ランナーB2 RN021 45 28 RN006 45 49.5 RN001 RN022 43 60 64 60 原板:ポリエステル系塗装GL 原板:ポリエステル系塗装GL 板厚: 0.8mm 板厚:B1·0.8mm B2·0.5mm 長さ: 4000mm 長さ:3000mm コードNo. 下表参照 コードNo. ランナーD1/下表参照 ランナーD2/RNO18 名 称 ランナーC 名 称 ランナー D1・D2 ランナーD1 パネル厚 寸法 (mm) 〈ランナーD1〉 コードNo. 30 (mm) パネル厚 寸法 (mm) コードNo. RN008 22 26.5 (mm) Α RN009 35 39.5 RN014 23 35 RN010 RN015 33 45 49.5 45 ランナーD2 RN011 RN016 60 64 60 48 原板:ポリエステル系塗装GL 原板:ポリエステル系塗装GL 板厚: 0.8mm 板厚: 0.8mm 長さ: 4000mm 長さ: 4000mm コード No. **下表参照** ⊐-1°No. IROO8 · IROO9 名 称 フラット出隅 名 称 フラット入隅 寸法 (mm) コードNo. Α DE041 55 DE042 65 DE043 75 DE044 85 DE045 95 寸法 (mm) コードNo. DE046 110 Α DE047 130 IR008 50 DE048 IR009 30 150 原板:ポリエステル系塗装GL 原板:ポリエステル系塗装GL 板厚: 0.5mm 板厚: 0.5mm

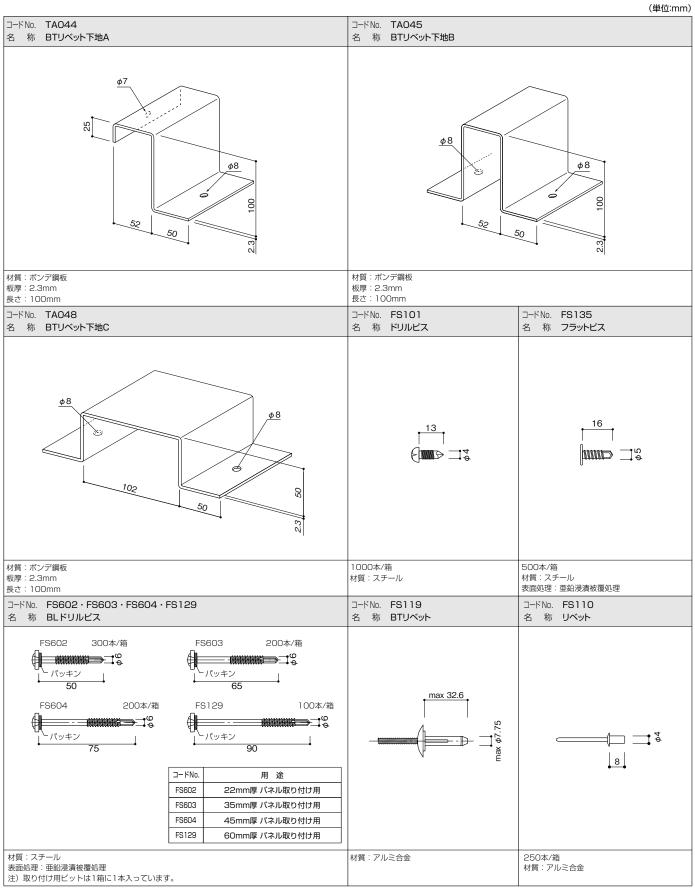
長さ:4000mm

(単位:mm)

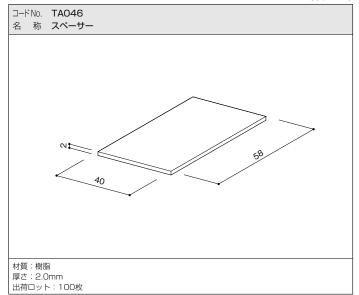


4

-



(単位:mm)



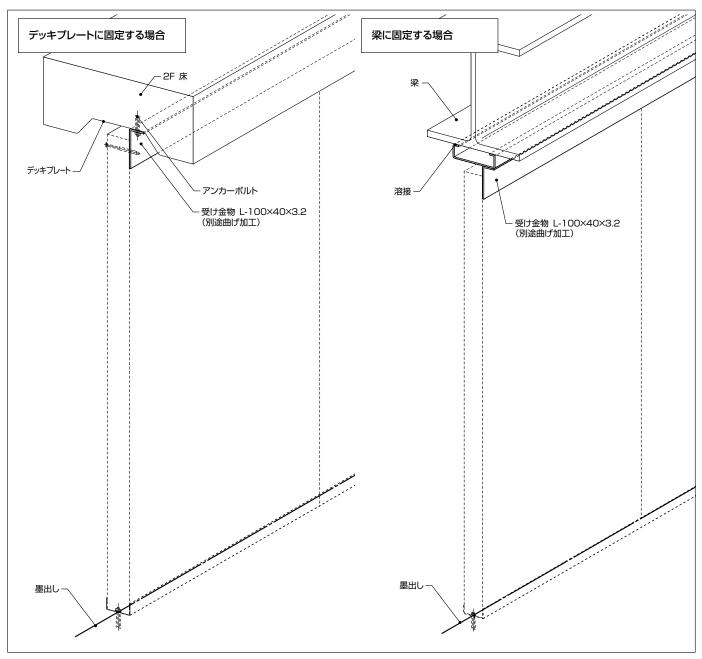
# **2**施

## 1. 不燃内装イソバンド〈壁の施工〉

## (1)準備

壁芯の位置に墨出しをします。床面の不陸は事前に調整を依頼して下さい。

次にパネル上部留め付け位置に受け金物を取り付けて下さい。受け金物を溶接で取り付ける場合は工事範囲について別途ゼネコンと調整して下さい。



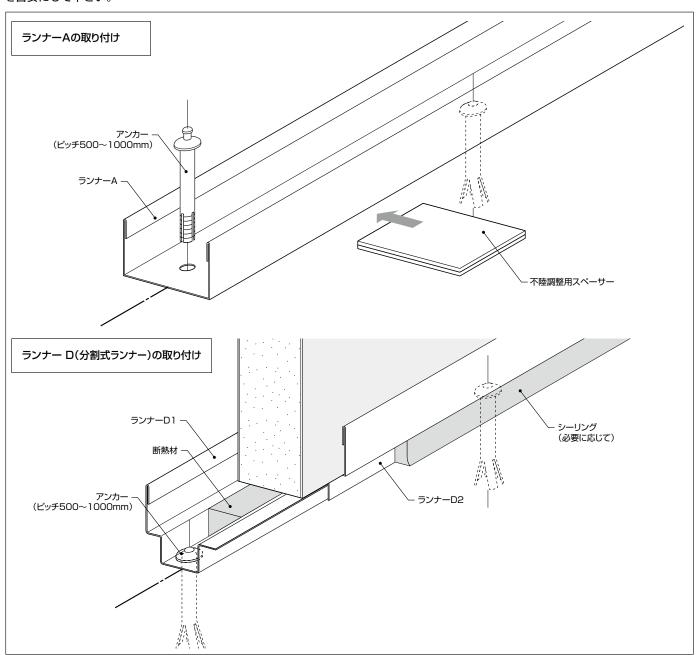
## **POINT**

- ◆現場割付の確認
  - ・施工図通りに施工できるか (施工図に変更の必要がある場合には、必ず、設計事務所、ゼネコン の承認を得ます。)
- ◆床面の不陸は調整したか

## (2) ランナーの取り付け

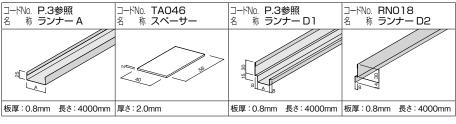
墨にあわせてランナーをセットし、アンカーを打ち込んでランナー を固定します。アンカーの留め付けピッチは  $500\sim1000$ mm を目安にして下さい。

床面に不陸が残っている場合はランナーと床面の間にスペーサー をはさんで調整します。



## **POINT**

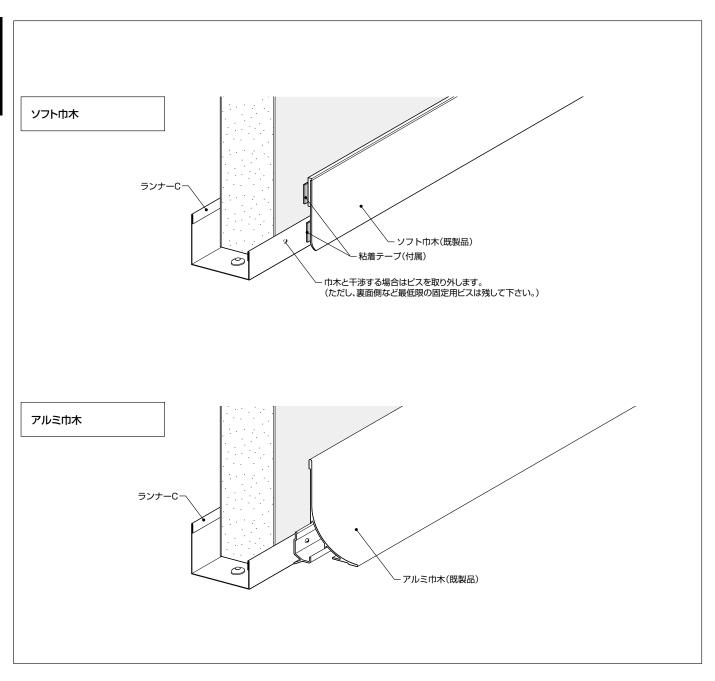
- ◆アンカーの留め付けピッチは適切か
- ◆不陸は残っていないか



## (3)巾木の取り付け

中木は用途や意匠に応じて使い分けて下さい。墨を出してしっかりと位置決めしてからまっすぐに取り付けて下さい。

また、ランナーに打ち込んだビス頭が巾木と干渉する場合には、 巾木を取り付ける前にビスを取り外して下さい。



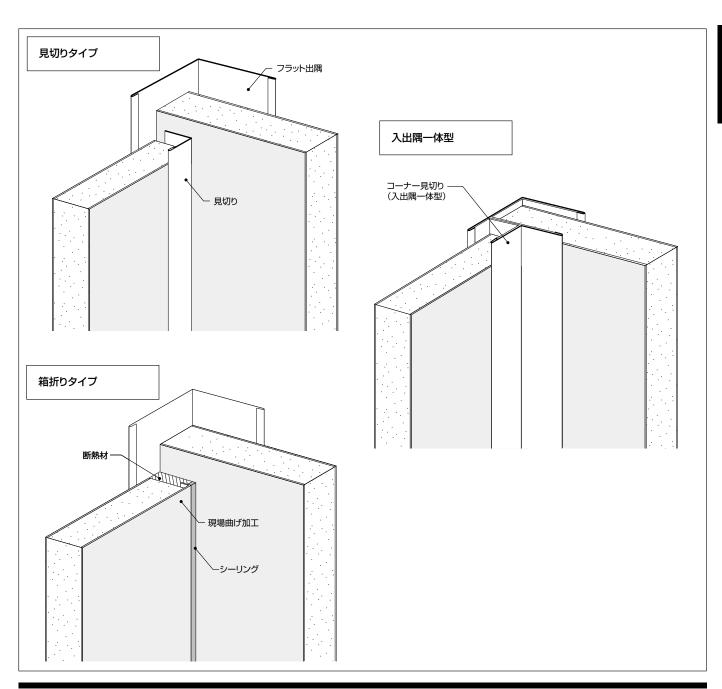
## POINT

- ◆墨を出してまっすぐに取り付けたか
- ◆巾木と干渉するビスは取り外したか



## (4) コーナーの仕舞

各種コーナー部材を用意しています。用途や意匠に応じて使い分 けて下さい。隙間には断熱材を充填して下さい。



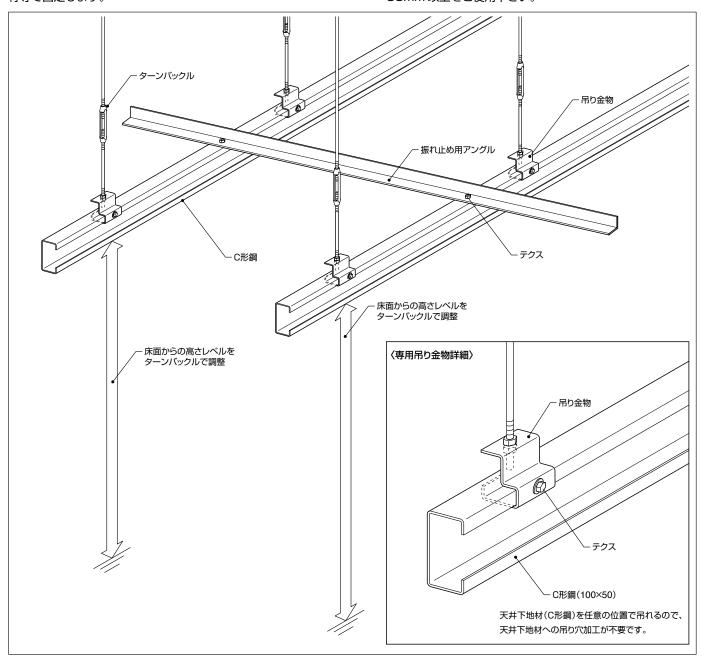


## 2. 不燃内装イソバンド〈天井の施工〉

## (1)準備

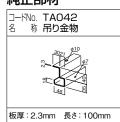
天井パネル留め付け用の C 形鋼を準備します。床面からの高さレベルをターンバックルで調整します。また、下地間隔はアングル材等で固定します。

注)厚さ 22mm のパネルは BT リベット留め不可。BL ドリルビス貫通留めとなります。BT リベット留めを行う場合は厚さ35mm 以上をご使用下さい。



## **POINT**

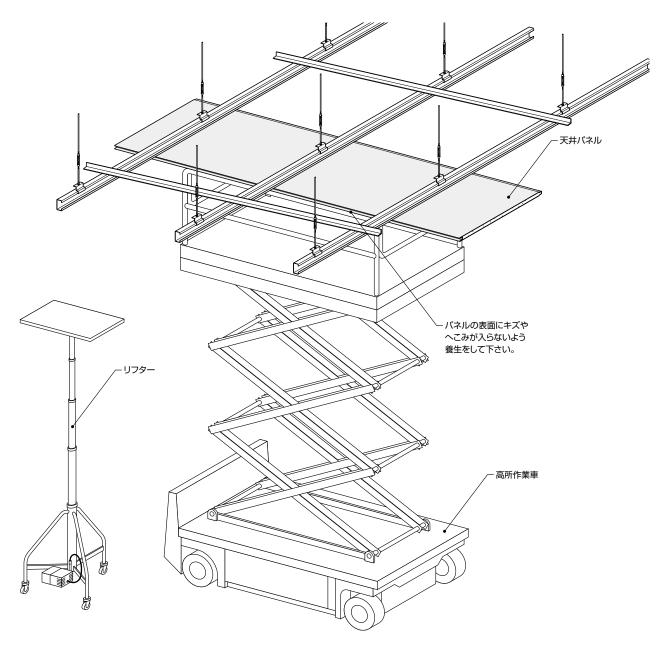
- ◆床面からの高さレベルを調節したか
- ◆下地間隔は正確に位置決めしたか



## (2)パネルの建て込み

屋内用の高所作業車やリフターなどを利用して、パネルを天井面 まで揚上し、パネルを建て込んでいきます。パネルの表面にキズ やへこみが入らないよう十分に養生してから実施して下さい。

また、揚上時にはパネルの落下等に注意し、慎重に作業を進めて 下さい。



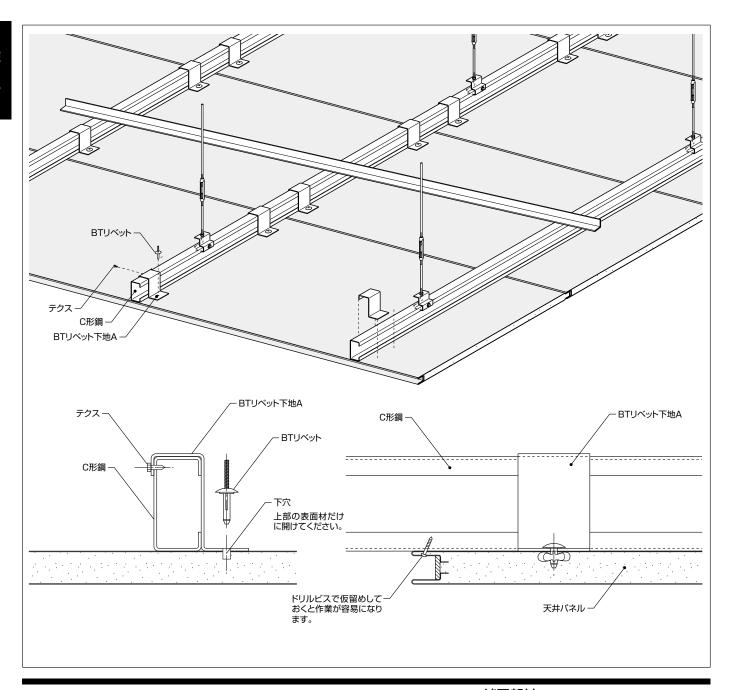
## **POINT**

- ◆パネルの表面にキズやへこみが入らないよう十分に養生したか
- ◆揚上時にパネル落下等の危険はないか

## (3)パネルの留め付け

パネル幅あたり 2 カ所の間隔で、BT リベット下地を C 形鋼にセットします。

パネル上面の表面材のみにドリルで下穴  $(8 \ \Phi)$  をあけ、BT リベットを装着してパネルを留め付けていきます。



## **POINT**

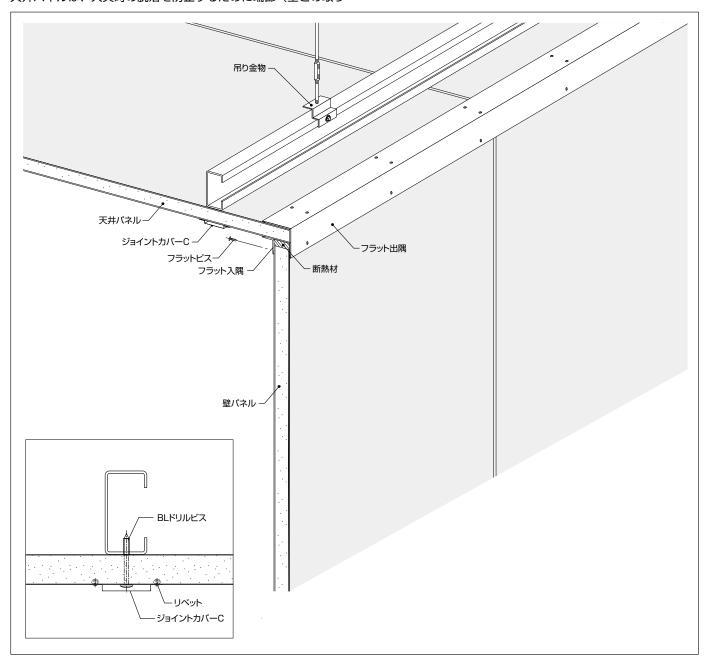
◆BT リベットの留め付け忘れはないか

## 

## (4)壁と天井の取り合い

天井パネル端部と壁パネル上部はフラット出隅等を介してビスで 合い、ジョイント部) はドリルビスで留め付けます。 固定します。

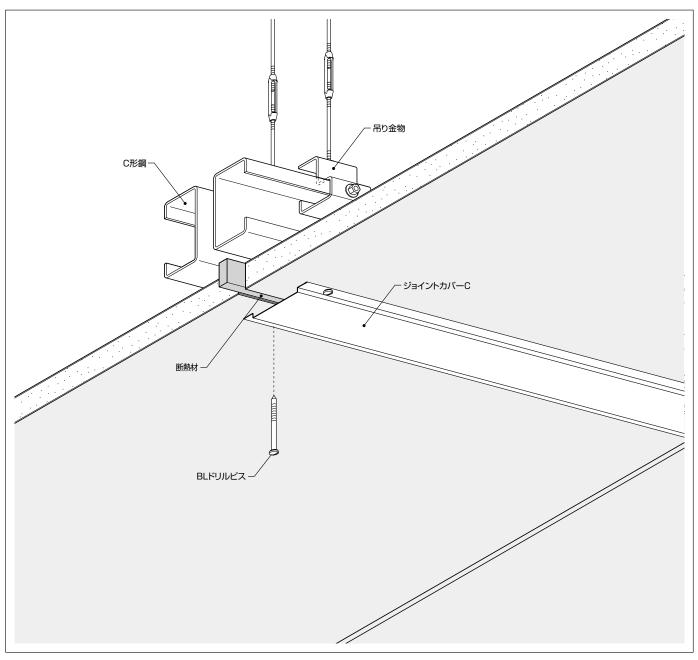
天井パネルは、火災時の脱落を防止するために端部(壁との取り



10				
□-ドNo. <b>P.3参照</b> 名 称 <b>フラット出隅</b>		□ドNo. TJO30 名 称 ジョイントカバー C	コードNo. TAO42 名 称 吊り金物	コードNo. FS135 名 称 フラットビス
***			\$10 \$7 \$2 \$2 \$46	
板厚:0.5mm 長さ:4000mm 材	坂厚:0.5mm 長さ:4000mm	板厚:0.5mm 長さ:4000mm	板厚:2.3mm 長さ:100mm	材質:スチール 亜鉛浸漬被覆処理

## (5)ジョイント部の仕舞

パネルを BL ドリルビスで C 形鋼に留め付けます。その際、必要 次に、ジョイントカバーをドリルビスで留め付けます。に応じて、パネルのジョイント部にはウレタンブロックなどの断熱材を充填しておきます。



## **POINT**

◆ジョイント部に断熱 材を充填したか

## 

厚さ: 0.5mm 長さ: 4000mm 材質: スチール 亜鉛浸漬被覆処理

## 3 施工後の注意

## キズの補修について

パネルの表面材は耐久性の高い仕様になっていますが、施工中に生じたキズが原因となって経年で塗膜の剥離や赤錆につながる場合もあり、以後のクレームの要因ともなります。引き渡し後でもキズが発見されたら必ず補修することが大切です。補修方法については以下のように考えて下さい。

- ●塗装の表面にキズがついた場合にはまず、布などで油、ゴミなどを 完全に除去し、表面材と同色の補修塗料で補修を行って下さい。
- ●補修塗料は常温乾燥タイプです。パネルは焼付塗装になっている ために色相及び性能が若干異なります。補修は筆先で最小範囲に 行って下さい。スプレーによる補修は不適当です。

## 汚れの清掃方法について

清掃は汚れの種類によって方法が異なりなす。以下のように考えて 下さい。

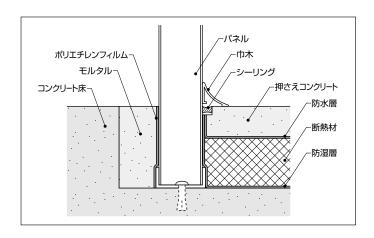
- ●埃、土埃の清掃には、家庭用中性洗剤を布にしみ込ませて拭き取って下さい。汚れ除去後は、必ず水洗いをして下さい。
- ●油汚れやペイント系の汚れ及びもらい錆については当社までご相談下さい。なお、シンナー、ベンジンなどの溶剤による清掃は絶対に行わないで下さい。

## ウレタン吹き付け時の注意

裏面にウレタンを吹き付ける場合、ウレタンの収縮によりパネル表面にしわ寄り現象を生ずる場合がありますので、ウレタン吹き付け施工業者と相談の上、注意して施工して下さい。

## パネル埋設時の絶縁について

パネルをコンクリート床に埋設する場合には、パネル表面の鉄板がアルカリ腐食を起こす可能性があります。パネル表面にモルタルが直接触れないようにポリエチレンフィルム等の防水材で必ず絶縁して下さい。



## お願いとご注意

### 1) お願い

- このカタログの内容は、2022年11月現在のものです。
- ●本カタログに記載された商品各種データは、商品の代表特性や性能を説明するものであり、保証値ではありません。 これらの情報は今後予告なしに変更する場合がありますので、最新の情報につきましてはHPまたは各支店・営業所までお問い合わせ下さい。
- ◆本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮下さい。
- ●色・形状・厚さ・幅等、豊富なバリエーションを取り揃えていますが、数量によっては納期がかかる場合がありますので、ご採用時に営業担当者 とご相談下さい。
- ●別途カタログ、設計・技術資料も取り揃えていますのでご参照下さい。
- 不燃内装 ~ \* /// に よ、商標登録並びに製造特許も数多く取得しています。類似品にご注意下さい。

### 2)使用上のご注意

正しく施工していただくために、下記のようにお守りいただく内容の種類 を絵表示で区分して説明いたします。

	禁止	●安全上行ってはいけない「禁止」の内容です。
$\wedge$	注意	●誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。

## ▲ 1. 商品の納入

商品は車上渡しです。荷下ろしについてはお客様にてお手配下さい。

## ○ 2. 運搬

商品の運搬や施工現場での搬入の際には、ナイロンスリングを直接商品にかけないで下さい。

## 

商品は梱包したままの状態で保管して下さい。直ちに作業しない場合で建築現場に野積みの状態にする場合は、地面に直接置かずにシートを敷き、台木に乗せ、防水シートを掛けて長期間(7日以上)にならないようご注意下さい。

雨水にぬれた場合は速やかに開梱して乾燥させて下さい。

## ▲ 4. 取り扱い方法

商品を地面や商品の上で引きずったりすると塗膜面に目に見えない擦りキズが発生します。美観を損なうだけでなく、耐久性にも影響しますので十分取り扱いにはご注意下さい。

## ⚠ 5. 保護フィルムの除去について

外壁パネル・内装パネルの表面には保護フィルムが貼り付けてあります。長時間放置しますと除去が困難になりますので施工後 1 ヶ月以内に除去して下さい。

保護フィルムには静電気が帯電しているおそれがありますので開梱後、パネルの取り扱い及び保護フィルム除去にはご注意下さい。

## ⚠ 6. 塗膜面の補修

塗膜面に擦りキズなどがついた場合、専用の補修塗料により 補修して下さい。但し、補修塗料で補修した場合は元の塗膜面 と全く同一にはなりませんので最小範囲でご使用下さい。広 範囲にわたる補修は専門業者へご相談下さい。なお、海岸など 腐食の恐れのある地域では、露出切断端面の補修をお勧めい たします。

## **介** 7. 加工

パネルの切断及び穴あけ時に出る切粉は、錆の発生原因となりますので必ず除去して下さい。

## ↑ 8. 取り付け部材・金具

当社の純正部材または当社指定の取り付け金具を使用して下さい。他の部材や誤った工法での不具合については責任を負いかねます。

## ⚠ 9. 施工

高所作業においては特に踏み抜きや滑落がないように注意して下さい。

労働安全関連法規を厳守するとともに安全作業の徹底に努めて下さい。

### (1)安全装備

正しい服装と保護具(ヘルメット・安全帯など)の着装。

### (2)安全規則

毎日のミーティングで作業規律の徹底と健康状態の維持 管理及び安全についての注意事項の確認。

## (3)施工計画

施工に際してゼネコンと事前に十分連絡を取り合い、特に 建物内部で作業や操業をしている場合には、作業状況につ いて緊密な連絡を取って下さい。

## (4)高所作業の安全対策

敷板(足場板)及び滑落防止用ストッパーなどの設置による屋上での作業や材料置き場の安全確保をして下さい。 安全ネットを設置して下さい。

## (5)安全操作と落下防止

電動工具や一般工具の取り扱いに際しては漏電・感電防止等、安全操作を心がけて下さい。またそれらの工具の落下防止にも十分注意して下さい。

## (6)災害防止対策

整理・整頓の徹底、玉掛け作業の安全確保、標識の重視などにより災害の防止を心がけて下さい。

## (7)気象条件の対策

降雨、降雪、強風などの気象の変化による事前の処置を心がけて下さい。

## ▲10.シーリング材

塗装鋼板の種類に適合するシーリング材をお選び下さい。 通常の場合、変成シリコーン系の製品をお薦めいたします。 また、ご使用に際してはプライマー(下塗り材)の必要な物も ありますので、塗装鋼板の樹脂名を提示の上、シーリング材メ ーカーにお問い合わせ下さい。なお、設計・技術資料に推奨の シーリング材名を記載しております。

## ▲11. ウレタン吹き付け時の注意

裏面にウレタンを吹き付ける場合、ウレタンの収縮によりパネル表面にしわ寄り現象が生ずる場合がありますので、ウレタン吹き付け施工業者と事前によくご相談下さい。

## ⚠12. 切粉・鉄釘などの除去

壁・屋根面に鉄材の切粉・切り屑や鉄釘などを放置しますと塗装鋼板の塗膜上で赤錆が発生し、もらい錆の原因になり腐食を早めますので、発見後、直ちに除去し水洗いして下さい。

## ↑13.化学・電食作用

コンクリートからのアルカリ溶液や常時湿った木材との接触は避けて下さい。ステンレス・銅・鉛等の異種金属との接触による電食にご注意下さい。接触せざるをえない場合はシーリング、ゴムシート等で絶縁して下さい。

## ⚠14. 雨がかりのしない部位

雨のかからない庇や軒先の裏面などの部位は、長時間に海塩粒子や腐食生成物が付着し、その複合物質により早期に腐食するおそれがありますので、定期的に水洗いを行って下さい。

日鉄鋼板株式会社 無断転載を禁ず 2022年11月

内装パネルイダ内装インパンド

## NIPPON STEEL 日鉄鋼板株式会社

本社・パネル建材営業部 〒103-0023 東京都中央区日本橋一丁目5番6号 第10中央ビル TEL 03-6848-3800 FAX 03-6848-3838 店 〒103-0023 東京都中央区日本橋一丁目5番6号 第10中央ビル TEL 03-6848-3820 FAX 03-6848-3838 支 店 980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3-6-1 一番町平和ビル TEL 022-264-9861 FAX 022-264-9866 店 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-13-18 NSビル TEL 052-564-7258 FAX 052-564-4759 名 支 大 支 店 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-5-33 住友ビル TEL 06-6228-8381 FAX 06-6228-8531 店 〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町5-18 博多NSビル TEL 092-281-0051 FAX 092-281-0230 九 州 支 北 店 〒067-0064 北海道江別市上江別441番地 TEL 011-803-8001 FAX 011-803-8030 北 業 所 〒930-0004 富山県富山市桜橋通1-18 北日本桜橋ビル TEL 076-432-9898 FAX 076-442-2924

©2022 NIPPON STEEL COATED SHEET CORPORATION. All Rights Reserved.



http://panel.niscs.nipponsteel.com/ NISC PANEL



本資料に記載された内容の無断転載や模写はご遠慮下さい。